

2023年度も神様に守られてひと月を過ごすことが出来、無事に5月を迎えられました。ゴールデンウィーク明けの8日(月)より、いよいよ本格的な保育園生活がスタートします。保護者会総会でもお話ししました通り、子ども達の成長の歩幅は一人ひとりそれぞれ違います。同じ年齢のクラスの仲間同志であっても、誕生日によって…とか兄弟姉妹がいる・いないとか長子・中間子・末っ子という立場によっても子どもの生活に於ける刺激や影響、経験値などが大きく変わってきます。私達保育者や周りの友達との人間関係の構築に於いても、安心できる信頼感に満たされ、確かな心の繋がりができるまでに要する時間やリズムは、皆それぞれです。身体的な発達も同様です。全員が全員ピタッと揃うことはありません。揃わなくていいのです。ですからAちゃんとBちゃんを比べることはしません。AちゃんにはAちゃんの歩幅がありBちゃんにはBちゃんにとっての日々の成長の姿があるからです。比べる必要はありません。子ども一人ひとりの歩みにそして一人ひとりの心に“人として”どんな時も寄り添いながら神様に愛されているかけがえのない大切な存在であることの喜びと感謝を分かち合えるよう、職員一同心を合わせ、祈りと共に尽くして参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて皆様には掲示でもお知らせしました通り、今保育園では1匹の猫を保護しています。新年度が始まって間もなく、ちょうど先月の半ば頃、晴れた日のことでした。下の園庭で遊んでいた年長組の子ども達が、草の中にうずくまっていた三毛猫を見つけました。おとなしくてじーっと静かに丸くなっているその様子をとても心配した皆が、私のところに駆け込んできて夢中で話してくれました。ご近所で飼われている猫ちゃんたちや、野良かなと思われる猫たちが時々窓の外を歩いているのを見かけることはありますが、今回はちょっと様子が違うのかな?と思いながら子ども達の話聞いていました。「おばあちゃん猫かもね…しばらくしたらきっとお家へ帰るだろうから、そっとしておいてあげればいいよ」とその時はいつもの通りすがりの猫ちゃんたちと同じだろうと、そんな気持ちで皆に返事をしていました。ところが、その翌日も「猫ちゃんがいる!」との声。昨日と同じ場所にいたそうで驚きました。排泄物のほか、衛生面を考慮しなければ…と思っていた時でした。どうやら子ども達の後ろをついてきてしまったようで、ふと気がつくと、ねこ組の出入口のガラス戸の前に、ちょこんと座っているのを、先生達と子ども達を見つけました。ドアが開くのをじっと待っている様子でそのひたむきな姿を見てこれは人間に飼われていたか、お世話されていたのだなと思いました。それからはずっと身をガラスに寄せながらちょこんと座り続け、ドアが開くと隙あらばすぐに入ろうと立ち上がっては私達人間の顔をまっすぐに見上げて「みい〜みい〜」と小さな声で甘えるように啼く様子に、人間に慣れていること、扉が開けば入れると思っていること…などこれは屋内で人間に飼われていたに違いないと私達は確信しました。けれどもだからと言ってどうしたらよいのだろう…と、それから何度も何度も皆で悩み考え真剣に話し合いました。

その間も あどけない顔で 懸命に啼きながら、何かを訴えているように見える猫の姿は 切なく、
たまらない想いで溢れました。神様は なぜ つのぶえに来させたのだらうと 辛くなりました。
そして 皆で出した結論は『こんな姿にさせられたのは 猫が悪いわけではなく 人間の無責任。
この“たったひとつの 小さな命”を なんとか助けてあげたい。』
保護することを決めました。

まず、子ども達への影響や支障がないよう 第一に衛生面を考え、動物病院で診察を受けました。

その後の具体的な方法や経緯は 岩崎が記載した掲示の通りですが、

実は 昨日になり、体調がおかしいので 再診して頂いたところ、「腸重積（腸閉塞）」が判明。
緊急手術を受け、そのまま入院となってしまいました。

しばらくの間 安静にして、様子を見て頂くため、病院で過ごします。

回復後、心配ない状態であると診断されましたら、一度 保育園に戻ることになると思いますが
今後は私達で責任をもって、安心して生きていける場所へ繋げていくために 必ず動きますので、
どうか その旨 ご理解頂ければ幸いです。

子ども達の安全及び衛生等の管理に関しましては、動物病院のドクター並びにスタッフの方と
NPO 法人の方々にも ご指導やご助言を賜りながら、十分に留意し、配慮して行って参ります。
私自身も 正直 “いぬ派” の生活をしてきたので、ねこについては 皆目 わからないのですが
与えられた出会いだと受け入れ、小さな命と真摯にしっかりと向き合っていきたいと思います。
保護者の皆様には 大変 ご心配をおかけ致しておりますこと、ほんとうに申し訳ありません。
もし、何か ご不安なこと等がありましたら、どんな些細なことでも 仰ってください。

勝手ながら 重ねてお願い申し上げます。

（尚、成田市役所には これまでの詳細や現状、今後についての私共の意思、方向性等を報告し、
今後も 連絡および報告致しますことにて、ご了解頂いております。） （石田 記）

「ゆだねられたものを 守りなさい。（新約 テモテへの手紙Ⅱ 6:20）」